

区分	No	意見の概要	本市の考え方・対応
計画に関する こと	1	避難する高さは、見晴らし台にもなり周りの状況も把握出来るよう 12.0m 以上にして欲しい。	避難する高さについては、当該地区の浸水想定高さ 9.0m に、余裕高の 4.0m を加えて、13.0m として計画しています。
	2	津波ハザードマップを見ると土々呂地区は最悪です。もっと早く津波避難施設を作るべき地区ではなかったのか。	津波避難施設等を計画するにあたっては、「高台」や「避難ビル」などの避難場所がない地域や避難路が確保できない地域を「特定津波避難困難地域」に指定し、各地区の状況に応じた整備を計画しています。 指定した特定津波避難困難地区は、土々呂地区を含めて 7 地区あり順次、地域の方々と協議を行いながら整備を進めているところです。
整備に関する こと	3	避難施設に災害情報や避難情報が発令できるよう放送設備や警報システムを整備して欲しい。	複合型津波避難施設には、伊形支所に設置している防災行政無線の屋外拡声子局（屋外スピーカー）を移設整備することになっており、地域住民に災害情報や避難情報をお伝えできると考えています。
	4	飲料水や非常食などを備蓄する部屋を整備して欲しい。	複合型津波避難施設の 3 階には、土々呂地区を含む南部地域の支援物資を一定量備蓄する予定です。 その支援物資の中に、10 年保存が可能な飲料水や簡易トイレなども備蓄を予定しています。
	5	災害時に生きていくために最低限の飲料水は必要だと考えるので、飲料水タンク（2t スケール）を最上階に整備して欲しい。	
	6	災害時に多くの方が避難してくるため、施設のトイレを多く整備して欲しい。	
7	避難階段はお年寄りが多いので階段の手すりは真ん中にも設けて移動を容易して欲しい。	実施設計の中で、バリアフリーに配慮した設計に努めます。	

土々呂地区複合型津波避難施設整備事業に関する意見募集一覧

総務部危機管理室

区分	No	意見の概要	本市の考え方・対応
整備に関する こと	8	土々呂地区に津波避難施設が整備されることで、住民の不安が解消されると思います。早期完成を切に望みます。	今年度、実施設計を行い、来年度から工事に着手する予定です。工事の完成は、平成32年中を目指しています。
	9	孫が小学校からの帰り道に津波避難施設が整備されるので、とてもありがたいです。	
利活用に関する こと	10	施設の壁に大きなボードを設置し、災害時に地域住民の安否情報など付箋紙を活用して確認できるようにして欲しい。	複合型津波避難施設の2階に防災学習室を整備する予定です。防災学習室は、市民が日頃より集まって防災について知識を高めながら地域交流が図れるような施設として活用していただきと考えております。こうしたことを踏まえ、日頃の活用方法はもとより災害時の安否情報等の確認方法に必要な備品などについても、今後、地元や関係機関等と協議しながら準備していきます。
その他	11	私たちの地区は、避難場所はあるが、そこまで行く避難路が年寄や子供などが安全に避難できる通路なのか、調査・点検して欲しい。	津波避難路については、「協働・共汗津波避難路整備事業」で整備をしているところです。本事業は、各地区から要望を受け、地元の方々と立会・協議を行いながら地区と協働して整備するものです。避難路整備の要望があれば、総務部危機管理室まで問い合わせをお願いします。
	12	土々呂4丁目の住民が避難する港ヶ丘団地（高台）に行ける階段を整備して欲しい。	併せまして、是非今後避難訓練を複数回行なっていただき、不安な点等を地域の皆様が洗い出し、市と協働する事をお願いします。

区分	No	意見の概要	本市の考え方・対応
その他	13	土々呂コミュニティセンターの駐車場にも津波避難施設を整備して欲しい。	<p>土々呂コミュニティセンターがある土々呂4丁目付近は、土都楼（有料老人ホーム）や港ヶ丘団地（高台）などを避難場所として指定しています。</p> <p>指定した避難場所以外に津波避難施設が必要かどうかについては、南海トラフ巨大地震などの大規模災害を想定した津波避難訓練などを地域が実施していただき、訓練を通して避難場所が不足しているなどの課題が生ずれば、地域の方々や関係機関と協議を行い、必要に応じて津波避難施設等の整備を検討することとなります。</p> <p>また、地域での避難訓練等についても総務部危機管理室と消防署警防課が連携して助言や支援を行っております。</p>